

6章 総合問題6

問題

【1】

解答

1 c 2 a 3 e 4 d 5 b

解説

段落の整序，あるいは空所補充問題では，基本的に各選択肢の最初の文で用いられている語句に注意する。

a は，Another reason that is often given for the transition（この推移の理由としてよく言われるもう1つ）とあることから，「その推移（＝出生率の低下のこと）の他の理由」が述べられた段落の後にくることが推測できる。

b は，In the endとあることから，そこまで述べられている内容のまとめや結論にあたる内容が続くと考えられる。

c は，explain this phenomenaのthisという指示語が何を指すのかを考える。

d は，～ does not agree that poverty was the reason for the dropとあるので，「貧困が（出生率の）減少の原因だ」という内容が書かれている段落の次にくるはずである。

e の，Although these loan programs have clearly been beneficialも同様に，「貸付制度」について述べられている部分に続くと考えられる。

以上のことを考えながら本文を読み進めて，各空所にくるたびに，前の段落とのつながりに注意しながら，空所に入る段落の可能性を検討していく。空所の前だけでなく，直後の段落とのつながりも考慮し，大体の見当がつかいたら，文章全体を通して流れが不自然でないかを確認する。

全訳

いくつかの貧しい国では，子供の出生率は急速に低下している。1975年には，バングラデシュの女性は平均して生涯に7人子供を生んでいたが，今日ではわずか3人である。この急激な減少は，出生率の変遷として知られているが，南アジア全体で起こっている最も顕著なケースである。まずスリランカで起き，次にインドで起こった。最近ではネパールやバングラデシュでも起こっている。

c 人口統計学者は，現在のところ，この現象を十分に説明することはできていない。西洋諸国では，社会が高度に発達した段階になった後で出生率は低下し始めた。しかし，今回見られる減少は，識字率の向上や経済の発展といったよく言われる要素とは直接結びついていないわけではない。バングラデシュは今でも世界の最貧国の20位以内に入っている。

人口評議会のサジェダ・アミン氏は，政府の家族計画プログラムが出生率の低下の原因であると考えている。バングラデシュは24,000人の女性を雇用し，地方の家庭に避妊具を持参し，避妊や健康に関するアドバイスを行っている。しかし，そのような努力によって避妊が可能になってはいるが，それがうまくいっているのは，バングラデシュの人々が生む子供

の数を減らそうと思うようになったことも大きな理由である。1975年に、子供を何人生みたいかという質問をされて、女性は平均して4人と答えていた。今日では2人という答えである。さらに、以前は「神様次第よ」といった運命論的な答えをする女性が4倍近くいたが、現在では、それは自分次第だと思っている。

人口統計学者の多くは、この出生率の変遷はつまりは死亡率の低下によるものだと考えている。自分たちの子供が長生きしそうであるとわかると、夫婦は生む子供の数を減らすことができ、それでもなお自分たちが老後世話をしてもらえることもわかっている。しかし、以前は、死亡率が低下してから出生率に変遷するまで50年かかっていた。それが現在では、10年かかるかどうかである。バングラデシュでは、その関係は特に弱い。100人中14人というかなり高い乳児死亡率が、出生率の変遷の前に20年続いている。

a この変遷の理由としてよく言われるもう1つがマイクロクレジット(少額の短期融資)で、これはバングラデシュの経済学者ムハマド・ユヌスが提唱した考えである。1970年代以降、彼の経営するグラミン銀行ともう1つの民間団体、バングラデシュ農村向上委員会は、地方の貧しい男女に少額のローンを行ってきた。現在では、300万人のバングラデシュ人が——ほとんどが女性だが——そういったローンを受け、小さな事業を始めるのに利用している。

e このような貸付制度はもちろん役に立ってはいるが、それによってどのような影響があったかはわかりにくい。ローンを受ける条件の1つは、家族の人数を少なくする決意をすることである。したがって、グラミンプログラムに参加する女性たちは、平均よりも強く避妊を行っている。面白いことに、グラミンが取引を行っている村々の女性は、グラミンプログラムのメンバーでない女性でさえも、他の村の女性と比較して避妊具を使う傾向が強いのである。

このような影響は、すでに家族計画を考える方向に動いている村々をグラミンが無意識に選んでいることによるのかもしれない。あるいは、銀行の考えが社会全体に広がっているということかもしれない。しかし、アミン氏によると、出生率の変遷が始まった1970年代後半には貸付制度はまだ非常にわずかで、その直接の原因とはならなかったということである。

コロンビア大学のモニ・ナグ氏は、この変遷についてより否定的な原因を指摘している。1970年代初期は、パキスタンとの血まみれの戦争によってようやく独立を勝ち取ったバングラデシュにとって極めて困難な時期であった。戦争の後には大洪水に見舞われ、作物の不作、食糧不足が起こった。こういった出来事によって女性の弱さが目立つようになり、戦争中には多くの女性が強姦され、また、男性よりも多くの女性が洪水や飢饉で命を落とした。貧困によって数多くの女性が実家を離れ、労働者となった。このような社会秩序の混乱が原因で、女性が自分の運命をもっと制御しようとするようになったのかもしれない。

d しかし、国際女性保健連合のエイドリアン・ジェルマン氏は、貧困が出生率の減少の原因だとは考えていない。バングラデシュはこれまでにかなり発展してきており、以前考えられていたような絶望的な状況ではもはやないと彼女は指摘する。「人口統計学者には測定できないようですが、女性の地位は非常に大きく変わってきています。」と彼女は言う。バングラデシュが進歩を続けるためには、健康管理や教育の改善と合わせて、このような女性の地位の向上が不可欠だと彼女は考えている。

出生率の問題に対するまた別の説明として、通信媒体の影響がある。バングラデシュのラジオは毎日、健康や家族計画に関する番組を6時間放送している。「人口過密のため、子供を何人も生むのは無責任だと人々は考えているようです。」とアミン氏は言う。このような意識は、特に食糧さえも十分に得られるかどうかかわからない人々にとっては珍しいことだが、メディアのメッセージは字が読めないことの穴を埋めることができるということを示唆している。

b 結局、バングラデシュの例には、政策立案者が世界の他の地域に当てはめることができる教訓はほとんどない。すべての要因が何らかの役割を果たしたようである。最大の教訓は、最も単純な考えでもやってみる価値があるということかもしれない。

注

第1段落

ℓ. 1 ◇ fertility 「多産；繁殖」

ℓ. 3 ◇ transition 「推移；変遷；移り変わり」

◇ outstanding 「目立つ；顕著な」

ℓ. 4 ◇ emerge 「現れる；明らかになる」

第2段落 **c**

◇ demographer 「人口統計学者」

◇ after an advanced stage of development had been reached 「発展の高度な段階が達成された後で→社会が高度に発達した段階になった後で」

◇ such commonly cited factors as ～ 「～のような一般によく言われる要因」

◇ literacy 「識字率」

第3段落

ℓ. 8 ◇ contraceptive 「避妊薬 [用具]」 [cf. birth control]

ℓ. 9 ◇ largely because … 「…という理由によるところが大きい」

ℓ. 12 ◇ give a fatalistic response 「運命論的な答えをする」 [cf. fate *n.*]

ℓ. 13 ◇ be up to ～ 「～しだいである」

第4段落

ℓ. 15 ◇ mortality 「①死すべき運命 ②死亡率；死亡数」

◇ give birth to ～ 「～を産む」

ℓ. 17 ◇ now it is taking barely ten 「今では死亡率が低下してから出生率が低下するまで10年かかるかどうかである」

ℓ. 19 ◇ live birth 「普通出産」 cf. still birth (死産)

第5段落 **a**

◇ make a loan to ～ 「～に貸し付けを行う」

◇ set up a business 「事業を始める」

第6段落 **e**

◇ beneficial 「有益な；役立つ」

◇ it is hard to be sure ～ 「～についてははっきりとはわからない」

◇ make a resolution to … 「…する決心をする」

第7段落

ℓ. 21 ◇ come from ~ unconsciously ... ing 「～が無意識に…していることによる」

ℓ. 22 ◇ it could be that ... 「…ということかもしれない」

第8段落

ℓ. 27 ◇ win one's independence only through ~ 「～によってやっと独立を勝ち取る」

ℓ. 28 ◇ ~ was followed by ... 「～が…に続かれた→～の後に…があった」

◇ crop failure 「不作」

ℓ. 29 ◇ vulnerability 「弱さ；傷つきやすさ」

ℓ. 32 ◇ take more control of ~ 「～をもっと自分の意志で制御する」

第9段落 d

◇ is no longer ~ it was once thought to be 「かつてそう思われていたような～ではもはやない」

◇ can't seem to measure it 「それ（＝女性の地位の向上）を測ることはできないようだ」

◇ combined with ~ 「～と合わせて」

第10段落

ℓ. 35 ◇ irresponsible 「無責任な」

ℓ. 36 ◇ such awareness (～) suggests that ... 「このような意識から…ということがわかる」

◇ remarkable for ~ 「～には珍しい」

◇ cannot be sure of getting enough to eat 「食べ物も十分に得られるかどうかかわからない」

ℓ. 37 ◇ make up for illiteracy 「読み書きができないことの穴を埋める」

第11段落 b

◇ apply ~ to ... 「～を…に当てはめる」

◇ Everything seems to have played a role 「すべてのことが何かの役目を果たしたように思われる」 「つまり、「出生率の低下にはここで見てきたようにさまざまな原因が考えられるが、それぞれの要因が何かしら影響を与えたようだ」ということ。」

【2】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

①真の意味で、法というものは、自由で知性のある人を然るべき利益に制限するというよりは、むしろ然るべき利益に導くものであって、法の下にある人々の全般的な利益のために存在することくらいしか規定しないものである。もし法のない方が幸福であるのなら、法は無用なものであるとして、放っておいても消滅するであろう。それに、深い流れや断崖からのみ、我々を束縛する法は、制限の名にほとんど値しないのだ。②だから、法の目的とは、自由を廃止したり、制限したりすることではなくて、自由を守り拡大することである。というのは理性ある人間からなるすべての国家においては、法のないところに自由はないからである。

注

- ℓ. 1 ◇ not so much A as B 「A というよりはむしろ B」
 ◇ the limitation of a free and intelligent man to his proper interest
 < limit a free and intelligent man to his proper interest
 ○ limit A to B 「A を B に制限する」
 ◇ the direction of a free and intelligent man to his proper interest
 < direct a free and intelligent man to his proper interest
 ○ direct A to B 「A を B に導く」
- ℓ. 2 ◇ prescribe = say, write or tell with authority
- ℓ. 3 ◇ Could they be happier = If they could be happier
- ℓ. 4 ◇ of *oneself* 「(他に原因なく) ひとりでに」 (= by *oneself*)
 ◇ vanish = disappear gradually or suddenly
 ◇ that = the law
 ◇ deserve = have a right to
 ◇ which : 関係代名詞。先行詞は that。
 ◇ hedge ~ in = enclose ~
- ℓ. 5 ◇ precipice
 ① a vertical or steep face or a rock, cliff, mountain, etc. (絶望)
 ② a dangerous situation (危機)
 ◇ so that [結果] 「それで ; それゆえ ; だから」
 ◇ end = an aim, object, purpose or goal
 ◇ abolish = put an end to (especially a custom or institution)
 ◇ restrain = hold back, suppress; prevent ~ from doing something
- ℓ. 6 ◇ preserve = retain; maintain ~ in its existing state
 ◇ for 「~というのは (…だからだ)」 [理由の付け加え]
 ◇ state = a nation considered as an organized political community under one government (国家)
 ◇ of [構成要素]
 ◇ rational = having the faculty of reasoning
 ◇ being = a human creature
 ◇ where 「~の場合には」 (= in a situation in which)
cf. *Where* there is life, there is hope. (命あつての物種。)
Where there is a will, there is a way.
 (志あれば道あり。 / 精神一到何事か成らざらん。)

【3】

解答

- (1) c (2) c (3) c (4) d
 (5) 活気づく (6) b (7) a (8) d

解説

- (1) ○ share = a part of a large amount which is divided among or contributed by a number of people
○ customer = a person who buys, especially a regular shopper at a particular store
- (2) ○ opposite = entirely different; contrary
○ appearance = ① the act of coming into sight
② the form in which a person or thing appears; outward look
○ ℓ. 4 の good-looking, well-dressed に対して opposite である。
- (3) ○ short = not reaching the usual or required amount
- (4) ○ replace = be used instead of something or something else; do something instead of something else
※ take the place of; take over from の書き換えは頻出。
- (5) ○ pick up = get better
- (6) ○ too much = extremely ※おどけた表現。
○ brain = intellectual capacity
○ smart = having or showing a quick-witted intelligence
- (7) ○ It's just one of those things.
○ just one of those things: used to indicate that *one* wishes to pass over an unfortunate event or experience by regarding it as unavoidable or to be accepted
※この表現は慶応医学部でも出題された。
- (8) ○ ℓ. 15 ~ 17 「今日、理髪店で待つのは客の方ではない。長髪のエール大生たちが理髪店のウィンドウの前を通り過ぎる時に、理髪師たちは雑誌を読んだり、話をしたり、お互いの髪を切り合ったりして、ほんやりといすに腰掛けて、時が過ぎるのを待つのだ。」より、d が正解。

全訳

5 年前、エール大学キャンパス付近の理髪店は学生の固定客を持っていた。今日、エール大学の学生の多くにとって、長髪とジーンズがきちんと調髪された髪とネクタイに取って代わった。キャンパス付近の理容師たちは苦境に立つようになった。

「かつては顔立ちよく身なりのきちんとした青年が街を歩いているのを見れば、『エール大生だ』と言ったもんだったが、今では連中は全く正反対の格好をしているんだ。」とキャンパス近くのフィルの理髪店で理髪師をやっている、ジョー・ロプレスティは言う。

エール大生の髪が長くなるにつれて、大学の周りの理髪店の商売はだめになる。人の座ることのないいすと何もやることのない理容師が、理髪業の象徴として、縞模様のポールに取って代わってしまった。

ロプレスティ氏には、今では、学生の固定客はほとんどいない。しかし、エール大生の中には、就職の面接や親と会う時のような特別な場合には、仕方なく散髪に来る学生もいる、と彼は言う。ロプレスティ氏によると、卒業のシーズンが近づくと、商売がまた㊟活気づき始める。「連中は学校を出て行く時に変わるよ。ここのエールの学生たちは髪の毛を肩まで垂らして出世しようとするほどバカじゃないよ。」と述べた。

今日、理髪店で待つのは客の方ではない。長髪のエール大生たちが理髪店のウインドウの前を通り過ぎる時に、理髪師たちは雑誌を読んだり、話をしたり、お互いの髪を切り合ったりして、ぼんやりといすに腰掛けて、時が過ぎるのを待つのだ。

「俺たちに何ができると言うのかね。世間にはざらにあることの一つでさあ。馬を水際へ連れて行くことはできるが、水を飲ませることはできない。」とロブレスティ氏は言った。

注

- ℓ. 1 ◇ campus = the grounds and buildings of a university or college
- ℓ. 2 ◇ neatly < neat = pleasing in shape and appearance
◇ groom = give a neat and tidy appearance to
- ℓ. 3 ◇ come upon = meet or find something or somebody by chance
- ℓ. 4 ◇ you'd = you would
○ would 《過去の習慣》
- ℓ. 5 ◇ by: indicating reason for judgment
- ℓ. 8 ◇ empty = having nothing inside
◇ idle = doing no work
cf. lazy = not willing to do things
◇ the striped pole
↑ as a symbol of the profession
○ striped
○ stripe = a long, narrow mark, line or band
cf. strip = a long, narrow, flat piece of material
○ -ed = (suffix forming adjectives) having; possessing
- ℓ. 9 ◇ profession = an occupation or calling
- ℓ. 11 ◇ submit to = give in to; yield to
◇ barbering = being cut or trimmed
○ barber = cut or trim (a man's hair)
◇ job interview 「就職面接」
※ interview は日本語のインタビューより意味が広い点に注意。
- ℓ. 13 ◇ near = approach
◇ Boys change when they get out of school. : 「学校を出たら変わる」のではなく「出る時に変わる」のである。
- ℓ. 14 ◇ try and get on in life = try to get on in life
○ get on = continue doing something
◇ with their hair down to the shoulders
O C
○ with + O + C 「O を C の状態にして」
- ℓ. 15 ◇ it is ~ who ... 《強調構文》
- ℓ. 16 ◇ pass by (something or somebody) = go past (something or somebody)
◇ window = an opening through which customers are served in a bank, ticket

office, etc.

◇ idly < idle

ℓ. 17 ◇ giving each other haircuts

○ ○

cf. I gave my brother haircut. (私は兄貴の髪の毛を刈ってやった。)

ℓ. 18 ◇ You can lead a horse to water, but you can't force it to drink. (馬を水のある所まで連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない。)

○ 要するに、「本人にその気がなければどうしようもない」ということで、外国語学部の教授などが、学生に向かって必ず口にする諺。

○ lead の代わりに bring や take が使われることもあるが、lead が普通。

○ water の前に the が入ることもある。

○ 本文では force が用いられているが、make の方が頻度が高い。

【4】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

英国人に関して言われているのは、2人の人間が出会った時、彼らの開口一番の言葉のやり取りは天気についてである、ということだ。このことは、英国の変り易い気候の結果と解釈され得る。なぜかと言うと、2人のエジプト人が7月に会って「今日もまた晴れましたね」と言葉を交わすのは、無意味であろうが、一方で、英国では、この言葉は少なくとも驚きの表現として妥当なものだからである。このような開口一番の言葉は、さらにはある種の自制心、あるいは礼儀正しささえをも反映しているのかもしれない。なぜならこれらの言葉は、急いでいる場合には、双方が一言か二言を交わした後、に別れることを可能にしてくれるからである。

注

ℓ. 1 ◇ the British = British people

◇ opening = first

◇ exchange = a short period of talking between two people

ℓ. 2 ◇ interpret A as B = explain A as B < interpret = explain the meaning of

◇ changeable climate 「変わり易いという属性を持った気候」

○ changeable = liable to unpredictable change; often changing

○ climate ≠ weather

= the normal weather conditions of a particular region

◇ after all (前文への証拠・理由・補足・説明を示して)「だって；なぜかって言うと」

◇ it = for two Egyptians ~ to say ...

○ it 《形式主語》

ℓ. 3 ◇ would 仮定法／主語 (= it) が条件を表す。

◇ (It is) another sunny day (today), then

○ then [会話の終わりや, 相手の注意を引き付けたりする目的で用いて]「ね。; でしょう。; では。」

ℓ. 4 ◇ while = whereas

◇ it is at least reasonable to express some surprise

○ it = to say “Another sunny day, then” と解す。

○ reasonable = not absurd; sensible

◇ remark = something that you say or write

ℓ. 5 ◇ reflect = show an image of

◇ self-restraint 「自己抑制」 < restrain *oneself*

◇ either partyはこの文脈ではeach of the twoの意味で用いられている。

○ party = a person or group of people concerned

ℓ. 6 ◇ depart = go away

【5】

解答

(1) c (2) b (3) d (4) b (5) c (6) a

(7) d (8) d (9) b (10) d (11) a (12) b

Script

CD 1 23~25

W : This is Eva Banks and I'm here to interview Mike Cole, the man who has been America's biggest screen hero since he made his first hit movie twenty years ago.

Not only is he respected around the world and getting \$15 million a picture, but he also has a stable and happy marriage to casting director Sally Smithfield.

5 So here we are under the Hawaiian sun on the terrace of his hotel suite in Honolulu, sipping a cool drink.

Mike, I heard that you flew yourself over here from Maui this morning.

M : Where did you hear that? Well, it's true. But I'm only forty-five minutes away, shooting a romantic comedy.

10 W : It's really amazing how many films you manage to do. You must really love acting. It can't be that you need more money.

M : Let me tell you, Eva: it's the greatest job in the world.

W : As much as I love movies, I never thought I wanted to be an actress. But I have

always wanted to learn how to fly a plane.

15 M : Have you? Well, so have I.

W : But your renewed interest in flying didn't come out of being involved with your recent action war movie, *The Flying Tigers*?

M : No way! [Laughs.] I wanted to do it ever since I was a kid, long before I thought of getting into acting. Recently I realized that time was slipping away and that I'd better
20 do it now if I was going to do it at all. I started taking lessons a couple of years ago, but I kept getting interrupted by film projects. Curiously, several of them involved planes or flight scenes. But the planes you see me in were inside a studio. The actual flying scenes are done by stunt pilots. I've only recently gotten my license. Don't expect to see me flying over the Himalaya Mountains any time soon. Anyway, now I'm
25 on to working on my next big test.

W : Will that allow you to fly bigger planes?

M : Yes, but I'm not so interested in bigger planes. I enjoy flying in small planes.

W : Did you get hurt at all during the shooting of *The Flying Tigers*? I remember hearing a rumor of an injury.

30 M : I don't remember anything especially. Maybe there was something. I don't worry about bruises and that sort of thing.

W : As you get older, how do you keep fit enough for these action roles?

M : I don't do much. I play basketball with my son. I swim almost every evening as well when I'm not on location in some place where it's difficult — like the Sahara desert, for
35 example. And I try to be careful about what I eat — but not that careful.

W : You have a birthday coming up, don't you? Your fiftieth?

M : That's right. It's tomorrow. Want to come to the party?

W : I'd be delighted to, but unfortunately I have to bring this to a studio in New York by nine o'clock tomorrow morning.

40 How does aging affect you, Mike — turning fifty, being a grandfather?

M : Well, my grandson is now two, so I'm used to the idea. But I have never been concerned about age. I guess I've always had a respect for age and not much of a fear of it. After all, I never had a hit movie until I was over thirty-five, and that's supposed to be old in Hollywood. But it didn't really bother me. I knew my chance would come
45 eventually.

W : Let's talk about some of the movie roles that you've played recently.

M : Sure. (582 words)

全訳

W : エヴァ・バンクスです。今回はマイク・コールさんにインタビューします。彼は 20 年前に最初のヒット映画を作って以来、アメリカで最も偉大な映画俳優です。世界中で尊敬され、映画 1 本につき 1500 万ドル稼ぐだけでなく、キャスティング・ディレクターのサリー・スミスフィールドさんと結婚して、幸せに暮らしています。

さて、私たちはここハワイの太陽の下、ホノルルにあるホテルの彼のスイートルームのテラスで、冷たいドリンクを飲んでいるところです。

マイク、今朝マウイからご自分で飛行機を操縦してここまでいらしたそうですね。

M : どこで聞いたんですか。ええ、その通りです。でも、45 分しかかかりませんよ。今はロマンティック・コメディを撮っています。

W : あなたが撮られる映画の数の多さには本当に驚きです。本当に演技がお好きなんですね。もっとお金が必要だなんていうことはないでしょうから。

M : そうなんです、エヴァ。世の中で 1 番素晴らしい仕事ですね。

W : 私は映画が大好きですが、女優になりたいと思ったことはありません。でも、飛行機の操縦を習いたいとはずっと思っていたんです。

M : そうなんですか？ 私もそうです。

W : でも、あなたが飛ぶことに対して興味を新たにしたのは、あなたの新しいアクション戦争映画 “The Flying Tigers” に出演したためではないですよ。

M : まさか。(笑い) 子供の頃からずっとやりたかったんです。芝居をやろうと思ったずっと前からね。最近、時間はどんどん過ぎ去ってしまうから、やるなら今やった方がいいと気が付いたんです。2, 3 年前から習い始めたんですが、ずっと映画の仕事で中断されてばかりでした。奇妙なことに、そのうちのいくつかの映画には飛行機や飛行機で飛ぶ場面があったんです。でも、映画で私が乗っているように見える飛行機は、実はスタジオの中にあるんです。実際に飛んでいる場面は、スタントのパイロットがやっています。私は最近免許をとったばかりなので、近いうちにヒマラヤ山脈上空を私が飛んでいるのを見るだろうなんて思わないでください。それはそうとして、次の大きなテストに私は取り組んでいるんですよ。

- W: もっと大きな飛行機を操縦できるようになるんですか。
- M: ええ、でも大きな飛行機にはそれほど興味はないんです。小型飛行機を操縦するのが好きなんです。
- W: “The Flying Tigers” の撮影中にケガをしましたか。ケガをされたという噂を耳にした記憶があるのですが。
- M: 特には何も思い出さないな。何かあったかもしれませんが、打ち身などは別に気にしませんからね。
- W: 年を重ねるにつれて、そういうアクションの役のためにどうやって体調を整えるのですか。
- M: 大したことはしていません。息子とバスケットボールをしたり、それから、ほとんど毎晩泳いでいます。泳ぐのが難しい場所でロケがある時以外はね——例えば、サハラ砂漠とか。あとは、食べ物には注意するようにしていますが、それほど気は使ってないですね。
- W: もうすぐ誕生日ですよ。50歳の？
- M: そうです。明日です。誕生パーティーにいらっしゃいますか。
- W: ぜひ行きたいんですが、残念ながら、ニューヨークのスタジオにこれを明日朝9時までを持って行かなければならないんです。
- 年を取ることで何か変化はありますか。50歳になり、おじいさんになって。
- M: そうですね、孫はもう2歳ですから、もう慣れてきました。でも、年齢のことを気にしたことはまったくありません。年齢というものにずっと敬意を持ってきたし、それほど恐れを感じてはいないのでしょうね。結局、35歳を超えるまでヒット作が出なかったし、ハリウッドでは35歳は年長だとみなされるけれど。でも、そのことはそんなには気になりませんでした。やがてチャンスはやって来ると信じていましたから。
- W: 最近のあなたが演じた映画の役について少しお話ししましょう。
- M: ええ。

注

- ℓ. 3 ◇ *not only* is he respected ~ *but he also* has ... 「～だけでなく、…でもある」
 ◇ get \$15 million a picture 「映画1本につき1500万ドル稼ぐ」
- ℓ. 4 ◇ have a stable marriage to ~ 「～と安定した結婚生活を送る」
- ℓ. 6 ◇ sip ~ 「～をすすする」
- ℓ. 7 ◇ fly *oneself* over here 「(飛行機を自分で操縦して)ここに飛んで来る」
- ℓ. 8 ◇ I'm only forty-five minutes away 「(マウイからここまで)45分しかかからない」
- ℓ. 9 ◇ shoot a movie 「映画を撮影する」
- ℓ. 10 ◇ It's really amazing how many films you manage to do. 「あなたが出る映画の多さは本当にすごい。」
 ◇ it can't be that ... 「…ということはある得ない」
- ℓ. 12 ◇ let me tell you 「本当に；確かに」
- ℓ. 13 ◇ as much as ... 「…ではあるが」
- ℓ. 15 ◇ so have I = I have always wanted to learn how to fly a plane, too
- ℓ. 16 ◇ your renewed interest in ~ didn't come out of ... 「あなたが今度～に興味を持ったのは…のせいではなかった」

- ◇ be involved with ～ 「～に関わる」
- ℓ. 18 ◇ no way 「そんなことはない；まったく違う」
- ◇ ever since ～ 「～以来ずっと」
- ℓ. 19 ◇ time was slipping away 「時間は（知らないうちに）過ぎ去ってしまっている」
- ◇ I'd better do it now if I was going to do it *at all* 「もしやるのなら今やった方がいい」
- ℓ. 21 ◇ get interrupted by ～ 「～に邪魔される；中断される」
- ℓ. 22 ◇ the planes you see me in 「私が乗っている（ように見える）飛行機」
- ℓ. 23 ◇ Don't expect to see me …*ing* 「私が…しているところなんて見ることはないですよ」
- ℓ. 24 ◇ anyway 「ところで；それはそうとして」
- ◇ I'm on to working on ～ 「～を始めている；～に着手している」
- ℓ. 26 ◇ Will that allow you to …? 「それによって…できるのですか」
- ℓ. 28 ◇ Did you get hurt *at all*? 「（少しでも）怪我をしたことはあるのですか」
- ℓ. 31 ◇ bruise 「傷；打撲傷；打ち身」
- ◇ ～ and that sort of thing 「～みたいなもの；～など」
- ℓ. 32 ◇ keep fit 「健康を保つ；体調を維持する」
- ℓ. 34 ◇ be on location 「（映画の）ロケ中である」
- ℓ. 35 ◇ but not *that* careful 「（一応気をつけてはいるが）そんなに注意しているわけではない」
- ℓ. 36 ◇ have ～ coming up 「～がもうすぐやって来る」
- ℓ. 37 ◇ Want to come to ～? = Do you want to come to ～?
- ℓ. 38 ◇ I'd be delighted to, but … 「ぜひそうしたいのだが、…」
- ℓ. 40 ◇ affect ～ 「～に影響を与える」
- ℓ. 41 ◇ I'm used to the idea 「もうそのこと（＝自分がおじいちゃんであること）には慣れている」
- ◇ be concerned about ～ 「～を気にかける」
- ℓ. 42 ◇ have a respect for age 「年齢（が上の人）を尊敬する」
- ◇ not much of a fear of it 「それ（＝年をとること）をこわく思ったことはあまりない」
- ℓ. 43 ◇ that's supposed to be old in Hollywood 「それ（＝35歳を超えて初めて映画がヒットすること）はハリウッドでは遅いと言われている」
- ℓ. 44 ◇ it didn't really bother me 「それはあまり気にしなかった」
- ℓ. 45 ◇ eventually 「やがては；そのうち」

【6】

解答

- (1) F (2) F (3) a (4) c (5) c

解説

- (1) ① 「クラークス夫人は主婦だった。」

ℓ. 1 She was a famous actress. に矛盾。

○ housewife = a wife whose main occupation is keeping house, without having a paid job.

②「クラークスン夫人は 20 歳くらいに見える男に会った。」

ℓ. 4 There she met an American. He seemed to be about forty years of age. に
矛盾。

(2) ①「クラークスン夫人にアメリカ人男性が話しかけてきた時、彼女は（ ）
いた。」

a 「自分の家族の写真を見て」

b 「自分の子供に手紙を書いて」

c 「夫と話をして」

ℓ. 5 After takeoff, the man started to talk to Mrs. Clarkson. She was looking at a
photo of her family.

②「その男性と話していると、クラークスン夫人は（ ）。」

a 「自分の子供たちの方がその人の子供よりもよいと思った」

b 「自分の子供たちの健康が気がかりになった」

c 「その男性の子供が素晴らしいのでうらやましかった」

ℓ. 25 Now Mrs. Clarkson was very impressed.

○ envy = feel envy of

○ envy = the feeling of discontent and ill-will caused by another's good fortune,
wealth, success, advantages, etc.

③「そのアメリカ人男性の息子は（ ）。」

a 「酒を飲むのもタバコを吸うのも大好きだった」

b 「きわめて頭がよかった」

c 「ただの小さな赤ん坊だった」

ℓ. 28 "This is my son. He was born in New York just one month ago."

全訳

クラークスン夫人は家族とともにイングランドに住んでいた。彼女は有名な女優だった。彼女は商用で他の都市を訪れなければならないことが多かった。時にはアメリカへ行かなければならないこともあった。多忙であった。家族とともに過ごす時間はあまりなかった。

ある日、彼女はニューヨーク行きの飛行機に乗った。そこで、アメリカ人と出会った。彼は 40 歳くらいに見えた。彼は彼女の隣りに座った。離陸後、その男がクラークスン夫人に話しかけ始めた。彼女は、家族の写真を見ているところだった。

「あれ、あなたはヴァレリー・クラークスン夫人ではありませんか。」

「ええ、そうです。」と彼女は答えた。

「あなたの映画を見たことがあります。そちらがご家族ですか。」とその男はたずねた。

「ええ、これが夫で、これが息子たちです。」と言って、「ところでお子さんはいらっしゃいますか。」とクラークスン夫人はたずねた。

「ええ、息子が 1 人いて、今、ニューヨークで妻と一緒に暮らしています。ちょうど今会いに行くとおななんです。」と、男はうれしそうに答えた。

「それは素敵ですわ。私には息子が 2 人いるんですが、一緒にいられる時間がほとんどないんです。2 人ともオックスフォードの大学に通っているんですよ。」とクラークスン夫人

は誇らしげに言った。

すると男が、「2人ともとても頭がいいんでしょうね。」と聞いてきた。

「ええ、そうですよ。」と彼女は答えて、「でも2人ともお酒が好きで、ヘビースモーカーなんです。あなたの息子さんもお酒をたくさん飲むんですか。」と続けた。

「いいえ、全然。息子にはアルコールは飲ませません。アルコールは好きじゃないみたいなんですよ。」

「本当ですか。タバコはお吸いになるんですか。」と彼女はたずねた。

「タバコを吸うかですか。吸いませんね。息子はタバコを吸うと気分が悪くなるんですよ。きっとタバコの煙は嫌いですよ。」と彼は笑いながら言った。

「でも、お小遣いをたくさんせがんだりはしませんか。」

「いいえ、息子はこれまで一度もお金を欲しがったことはありませんよ。」と男は首を横に振って答えた。

クラークスン夫人はとても感心して、「本当に素晴らしい息子さんをお持ちですわ。今、息子さんの写真はお持ちでしょうか。」とたずねた。

彼は、「ええ、もちろん持っていますとも。これが息子です。ちょうど1カ月前ニューヨークで生まれたんです。」と言って、小さな赤ん坊の写真を取り出して、誇らしげに彼女に見せた。

注

ℓ. 1 ◇ England = the largest division of Great Britain

◇ actress = a woman actor

cf. actor = a person who acts in a play (in the theater or for moving pictures)

ℓ. 2 ◇ on business = for the purpose of doing business

cf. Are you here *on business* or for pleasure?

(ここへは仕事で、それとも遊びに来たのですか。)

◇ Sometimes she had to go to the United States.

○ had to doは、行為が実際に行われたことを意味する。「すべきであるのにしなかった」は should have done の形を用いる。

ℓ. 3 ◇ spend = pass (time) in a specified way

ℓ. 4 ◇ get on = board

ℓ. 5 ◇ next to = beside

◇ takeoff =

① an amusing imitation of someone else's behavior, speech, etc.

② the place at which the feet leave the ground in jumping; also, the place where an airplane runs along and leaves the ground

③ *the beginning of a jump or flight*

cf. ① a *takeoff* on Hitler (ヒトラーの物まね)

③ The plane is ready for *takeoff*.

(飛行機は離陸の準備ができています。)

ℓ. 13 ◇ happily = in a happy manner

ℓ. 15 ◇ college = (In Britain) any of the independent institutions into which some universities are separated.

◇ proudly = with pride; in a proud manner

ℓ. 16 ◇ smart = intelligent

cf. I wish I were *smart* enough to invent something and make a fortune.

(何かを発明して大儲けできるくらい頭がよければなあ。)

ℓ. 17 ◇ reply = say or write something as an answer

◇ love = like very much

◇ drink = consume alcohol

ℓ. 19 ◇ alcohol [ælkəhəl(:)] = ① a pure, colorless liquid that is contained in beer, wine, whisky, etc. and which makes them strong ② *any drink containing alcohol*

※外来語は発音・アクセント問題で頻出。

ℓ. 20 ◇ question = ask a question or questions

ℓ. 21 ◇ he'd = he would

◇ get sick = fall [become] sick

○ sick = not well

ℓ. 23 ◇ ask for = say that *one* would like to have (something)

◇ allowance = a sum of money paid regularly to a person

ℓ. 24 ◇ shook *one's* head < shake *one's* head = ① *say no by turning one's head from side to side* ② show *one* does not understand something by turning *one's* head from side to side

ℓ. 25 ◇ impress = fix or print deeply on the mind; have an influence on; move the feelings

ℓ. 26 ◇ certainly = used for emphasizing that something is definitely true or will definitely happen

◇ Do you have a photo of him with you?

have	～ with one 「携帯する」	頻出
carry		
bring		
take		

cf. I *have* no money *with* me. (金の持ち合わせがない。)

I have not *brought* my watch *with* me. (今日は時計をもって来なかった。)

Take my brother *with* you. (私の兄貴を連れて行け。)

Bring my brother *with* you. (私の兄貴を連れて来い。)

Power *carries with* it a responsibility. (権力は責任を携帯する。→権力には責任が伴う。)

添削課題

解答例

If I were a journalist, I would like to interview Al Pacino because I think he is an uncommonly intense actor. I would like to ask him why he chose an acting career and how he trained to become an actor when he was young. I would also like to ask him about some of the directors and actors with whom he has worked. I would especially like to ask him about his portrayal of Michael Corleone in *The Godfather*. [80 words]

解説

Since you are asked to imagine that you are a top international journalist, it is natural to use the subjunctive to express what you *would ask* if you *were* a journalist. Most students correctly used the subjunctive in the first sentence, but some forgot to use it later in the composition. When you have finished your composition, you should read through it and check for consistency in verb forms. If you use *would want to ask* or *would ask* in the first sentence, you can't use *want to ask* or *will ask* later on.